

兵庫ニューメディア推進協議会

令和4年度兵庫ニューメディア推進協議会 HINTグループサロン

各種データの活用事例を学ぶ

代 表 特定非営利活動法人H I N T 發知良之

サロンの目的

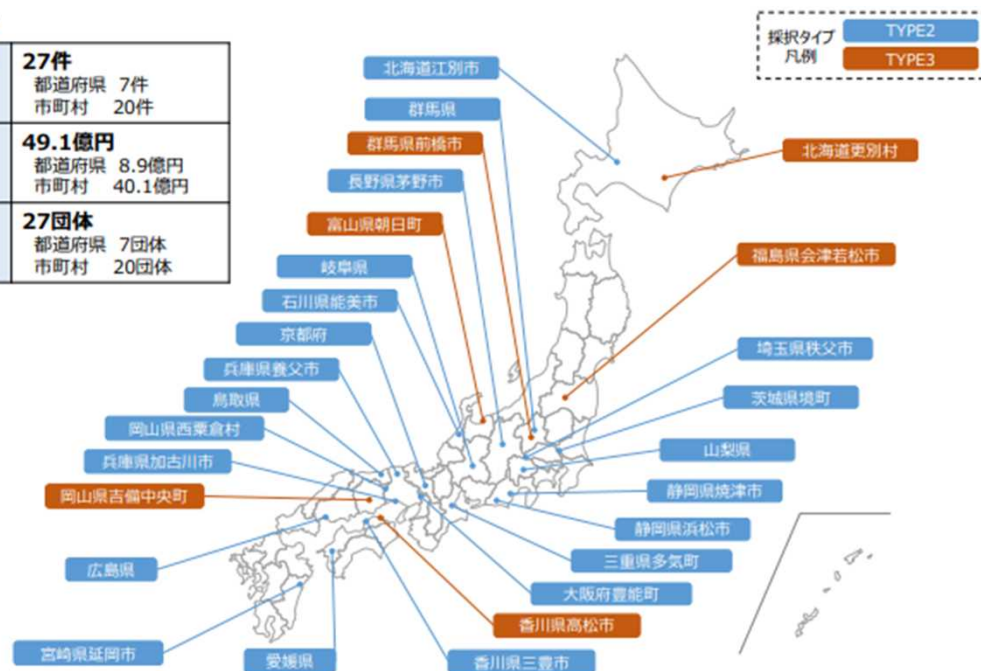
政府は2021年11月に、デジタル田園都市国家構想推進交付金として100億を令和3年土補正予算(案に)を新設することを示しました。

兵庫県は2022年5月24日に「スマートシティモデル地区の公募」にて姫路市、加古川市、三木市、三田市、加西市、養父市の6市がモデル市決定の記者発表を行った。

また2022年6月に内閣府 地方創生推進室デジタル庁が公表した、デジタル田園都市国家構想推進交付金、デジタル実装タイプ(TYPE2/3)の採択結果で、加古川市、養父市が採択されました

<採択結果>

採択事業件数	27件 都道府県 7件 市町村 20件
採択金額(国費)	49.1億円 都道府県 8.9億円 市町村 40.1億円
採択団体数	27団体 都道府県 7団体 市町村 20団体



<TYPE別の内容>



※申請上限数：都道府県 9事業 市町村 5事業

〇要件 (TYPE共通)

- デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む
- コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係と連携し、事業を実行的、継続的に推進するための体制の確立

※TYPE 2・3については、官民および民間事業者間での相互運用性の確保など、デジタル原則への準拠を求める。

引用: デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプ TYPE2/3)の採択結果について
令和4年6月内閣府 地方創生推進室デジタル庁

サロンの目的

スマートシティとは？

ICT技術などを活用し「持続的可能社会」の実現への手段。
将来の世代に必要なものを残しつつ、現住民QOLの向上を目指すこと。

具体的な例は

【防災】

気象データと地理情報を組み合わせで最適な防災対策。

【交通】

介護福祉施設が個別に行ってきた送迎業務をデータ活用による地域で一体でのサービス提供

「データの活用」が必要ではないのか！

サロンの目的

データ活用出来てないのでは？

- ・行政が持っているデータをもっとオープンに出来ないか。
- ・データをオープンにする事で、データに磨きがかかる。

データのオープン化の事例は

- ・国土交通省のPLATEAUプロジェクト。

もともと自治体は地域の平面地図や航空写真を持ってる。また固定資産算出用に航空測量も数年に一度のレベルで定期的に行っている。他にも、自治体で行う調査では建物や土地の用途や構造などを細かく調べています。こうした既存のデータから、全国の3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化進めている。

データ × オープン × 利活用



新たな価値が生まれる

参加予定者・開催予定

2022年11月29日時点

参加コアメンバー

氏名	所属	役職等 * 順不同
東田 勝則	日本無線株式会社	顧問
長谷川 伸也	養父市役所	政策監理部 情報センター 副主幹
縄舟 優一	NPO法人HINT	副理事長
井上あい子	兵庫県立大学	大学院生・特別会員
福田 宏司	code for harima	コアメンバー

そのほかサロン開催前に適宜参加者募集。
ただしコロナの状況を見てリモートでの参加も可とする

開催実績

令和4年12月 3日 プレイベント State of the Map Japan 2022 in kakogawa
令和5年 2月14日 第1回サロン
令和5年 3月10日 第2回サロン
令和5年 3月10日 データ活用事例

イベント(State of the Map Japan 2022 in Kakogawa)



URL:<https://stateofthemap.jp/2022/>

主催: State of the Map Japan 2022実行委員会 / Code for Harima

共催: 一般社団法人 OpenStreetMap Foundation Japan

後援: オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン / Code for Japan /

Open Source People Network / NPO 法人 CrisisMappers Japan /

YouthMappers AGU / 青山学院大学 地球社会共生学部 /

一般社団法人 OSGeo 日本支部(OSGeo.JP) / Code4Lib JAPAN /

兵庫ニューメディア推進協議会 / 加古川市 / 兵庫県

イベント(State of the Map Japan2022 in Kakogawa)



State of the Map Japan 2022 in Kakogawa

2022年12月3日(土曜日) 13:00 - 18:00 加古川商工会議所
カンファレンス開催テーマ「リスタート」



イベント(State of the Map Japan 2022 in Kakogawa)



主な講演

- 京都府福知山市毛原におけるOSMの制作とQGISを利用した活用
- 加古川市スマートシティ推進の取り組みについて
- 行政の航空写真をOSM背景として利用する
- 紙地図 VS オープンストリートマップ
- OpenAerialMap v2 はどうなるか？

講演の一部はYouTubeにて配信

<https://www.youtube.com/@sotmjp>

QGISでの利用 2D上表現

OSMに登録されている建物用途
によって色分け



京都府福知山市毛原におけるOSMの制作とQGISを利用した活用

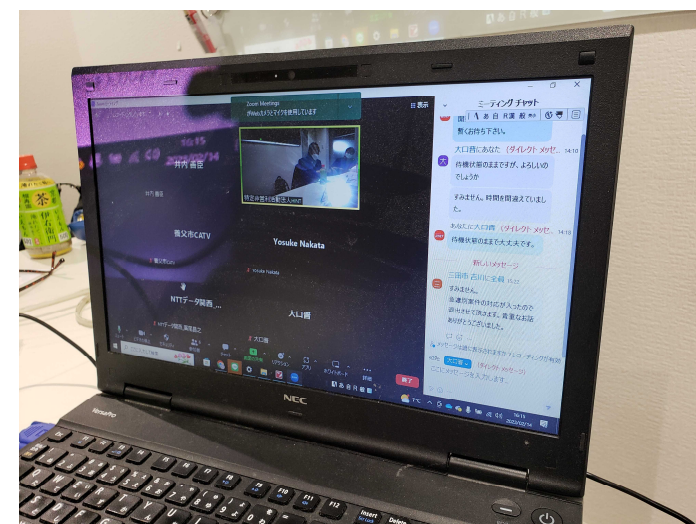
開催概要 第1回サロン

開催日：令和5年2月14日（火） 14：30～16：30

場 所：明石駅前興生ビル
(明石市本町1-2-33興生ビル4 F)

講 師：播田幸裕氏(兵庫ニューメディア推進協議会元幹事)
石本玲子氏(高砂市政策部経営企画室 企画課主幹(DX推進担当))

参加者： 13名(現場8名、リモート5名)



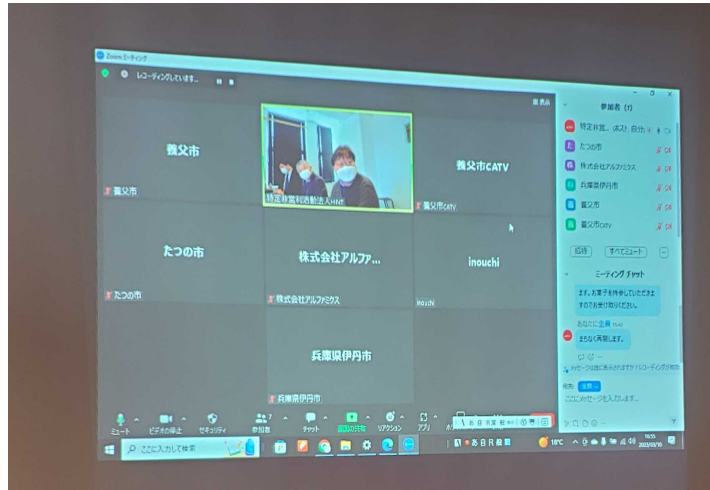
開催概要 第2回サロン

開催日 : 令和5年3月10日(金) 14:30~16:50

場所 : 明石駅前レンタルスペース
(明石市桜町14-19 KUKIビル4階)

講師 : 渡邊 宰氏 (養父市経営政策・国家戦略特区課)
加藤 貴弘氏 (徳島県危機管理環境部 水素グリッド推進室)
坂ノ下勝幸氏 (一般社団法人OpenStreetMap Foundation Japan副理事)
畑 正夫氏 (兵庫県立大学 地域創造機構 教授)

参加者 : 14名(現場7名、リモート7名)



データ活用実践事例

令和5年3月25日(土) 高砂市向島公園
 自転車×ゼロカーボンイベントにて、高砂市内の自転車事故の発生状況をポスター展示。(兵庫県オープンデータカタログ利用)

高砂市と高砂警察による交通安全教室
 兵庫県警交通安全教室
 13:30～14:30 (一部) 14:30～(二部)
 交通安全情報発信 公式アカウント by 兵庫県警察交通部 交通企画課

code for harima 提供
 地図で見る「危険箇所」
 高砂市自転車マッピングイベント

Pro Shop YRS 提供
 (一部)13:30～(二部)14:30～
 自転車イベント

パナソニックサイクルテック試乗会
 ・坂道乗車体験トラック登場
 ※当日は電動アシスト自転車に試乗出来ます!

11:00～桜の植樹式
 「MHIパワーエンジニアリング(株)」有志により
 寄付された桜の植樹式が行われます。

第4回 進化し続ける
 むこうじまフェスタ 3/25 11:00～16:00



電源は電気自動車から

データの活用方法を実践



兵庫県オープンデータから見る
 高砂市内の自転車事故発生状況

CODE FOR HARIMA

兵庫県
 Foreign Language 観光支援メニュー 災害関連情報 安心・安全情報

情報を探す
 キーワードから探す
 オープンデータカタログページ

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/opendata/index.php>
 兵庫県ホームページ「オープンデータカタログページ」より、2017年～2021年の兵庫県における交通事故発生状況(事故ごとの発生年月・時間・市区町村、緯度・経度、天候、年齢、事故類型等)をダウンロードして地図上に表示。

※ベースの地図はOpenStreetMapを使用 <https://www.openstreetmap.org/copyright>

事故分布図 平日と休日
 事故の多い場所を赤い分布図で表現
 分布図と休日の事故発生箇所が重なる

時間帯別事故発生 木金・16-19時の事故発生
 時間帯では16～19時に特定場所で事故が発生。
 分布図を重ね合わせてみると特定時間場所で発生している。

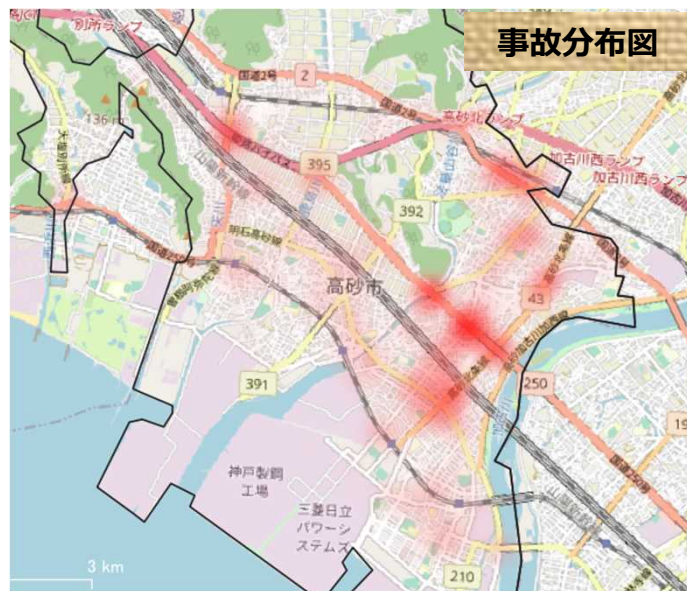
データ活用実践事例

QGISを活用して兵庫県オープンデータから高砂市内の自転車事故発生状況を可視化

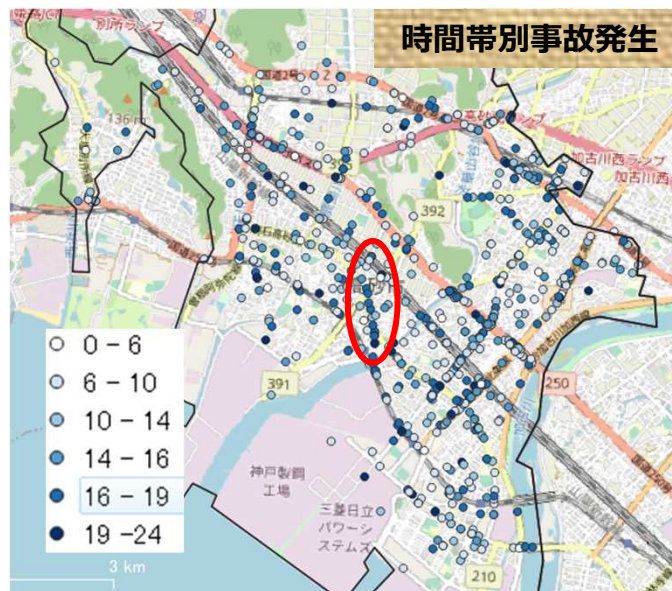


<https://web.pref.hyogo.lg.jp/opendata/index.php>

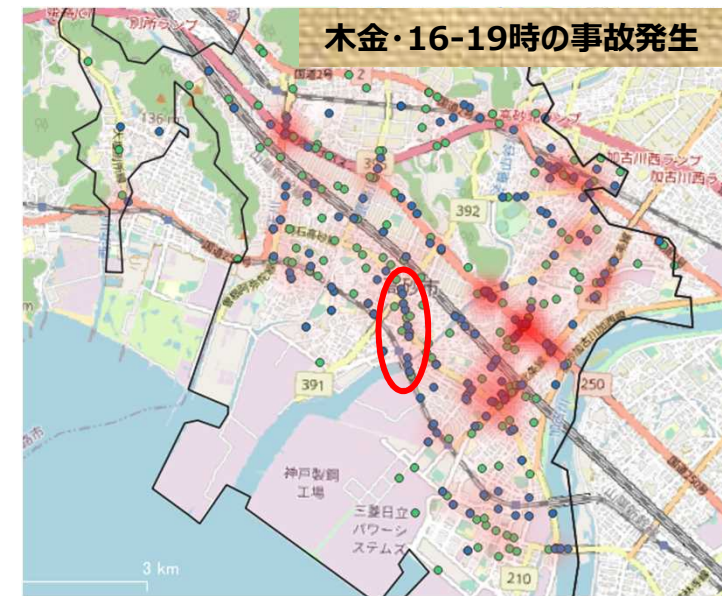
兵庫県ホームページ「オープンデータカタログページ」より、2017年～2021年の兵庫県における交通事故発生状況（事故ごとの発生年月・時間、市区町村、緯度・経度、天候、年齢、事故類型等）をダウンロードして地図上に表示。



事故の多い場所を赤い分布図で表現



時間帯では16～19時に特定場所で事故が発生。



分布図を重ね合わせてみると特定時間場所で発生している。

まとめ

□ 今年度テーマ「データ活用事例を学ぶ」総括

- 産官学の取り組みについて、基礎自治体、住民、大学の講師を迎えた。
- 地域活性化のために、データの活用方法を多面的に考察できた。
- このサロンを延長するような形で、産官学が併走する場の継続が必要。
- サロンの内容を実践する2つのイベント取り組むことでより理解が深まった。
- このような議論を実践に投入する場を続けることが重要である。

□ サロン開催の振り返り

- 兵庫ニューメディア推進協議会の支援にて数年間サロン開催。
 - 令和2年度コロナにより、リモートワークなどを実践的学ぶ。
 - 令和3年度DXの定義やメリットを事例から学ぶ。
 - 令和4年度各種データの活用事例を学ぶ。
- 実際に対面することでしか得られない本音の共有ができた。
- サロンと言う場の機会を与えてくださった協議会の方々に感謝を申し上げます。
- 今年度限りで協議会が解散。サロンは一旦お休します。
- 将来別の形で、開催できるよう願っています。